

## 令和3年度退職教員の紹介

部 局 名	大学院工学系研究科・原子力専攻	
氏 名	山口 彰	
職 名	教授	
本学在職期間	平成27年1月～令和4年3月	
所 属	原子力専攻 山口研究室	
専 門 分 野	原子炉工学、システム安全工学、流体工学、リスク学	
略 歴	<p>昭和54年3月 東京大学工学部原子力工学科卒業</p> <p>昭和56年3月 東京大学工学系研究科原子力工学専攻修了</p> <p>昭和59年3月 東京大学工学系研究科原子力工学専攻修了、工学博士取得</p> <p>昭和59年4月 動力炉・核燃料開発事業団（現在の日本原子力研究開発機構）にて 高速炉の熱流動、安全、リスク評価などの研究に従事</p> <p>平成17年4月 大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻教授</p> <p>平成27年1月 東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻教授</p>	
研 究 内 容	<p>Akira Yamaguchi, Sunghyon Jang, Kazuki Hida, Yasunori Yamanaka, and Yoshiyuki Narumiya, Risk Assessment Strategy for Decommissioning of Fukushima Daiichi Nuclear Power Station, Nuclear Engineering and Technology, Vol. 49, No.2, pp.442-449, 2017.</p> <p>B.J.Garrick, 山口 彰（訳）、超巨大リスクの定量的評価、森北出版(2021)</p>	